

【愛知医科大学・医学部】

—2014年度入試—

あなたにはこれまで3年間真剣なお付き合いをしてきて来年くらいに結婚の約束をしている彼ないしは彼女がいるとします。ところが2カ月前にふとしたことで知り合った別の人が好きになってしまい、今付き合っている人と別れる決心をしました。600字以内でお別れの手紙を書いてください。

★8分以内に200～300字程度（多くても良い）を目安に書いてみましょう！★

【慶應義塾大学・法学部】

—2013年度入試—

ある星から地球にやってきた宇宙人が、次のような質問状を残していきました。

「地球でいちばん驚いたことは、地球人が国と呼ばれる単位に分かれて暮らしていて、国ごとに異なる制度の下で競い合っていることです。私たちの星には、国という制度ばかりか、その概念すらありません。そこでお聞きしたいのですが、地球人はなぜ国という単位に分かれて暮らすことを好むのですか？」

以上の質問状に書かれた問いに答える形で、宇宙人への返事を400字で書きなさい。

★8分以内に200～300字程度（多くても良い）を目安に書いてみましょう！★

【順天堂大学・医学部】

—2018年度入試—



この写真はフランス人写真家 Henri Cartier-Bresson 氏が「VIVE LA FRANCE (フランス万歳)」という本の中で発表したものである。この写真の中の子どもの中の1人になったとしたら何を思うか。800字以内で書きなさい。

★8分以内に200～300字程度(多くても良い)を目安に書いてみましょう!★

選んだ子ども..

【日本大学・芸術学部・写真学科】

—2022年度入試—



この作品は、写真家の服部一人氏が2013年10月にロンドンのパデントン駅で撮影したものです。この写真が撮られた状況を想像し、どんな場面であるかを記述してください。

★8分以内に200～300字程度（多くても良い）を目安に書いてみましょう！★

絵画を鑑賞してグループで解説文をつくらう

A 担当の絵を見た「直感的な印象」

* 絵を見ての感想、気持ちなどを記す。その際、別紙の「心情語」「擬態語・擬音語」を活用しても良い。

(自分が感じた印象)

(班員が感じた印象)

B 担当の絵を「分析する」

* 様々な視点で絵を分析してみる。何が、どのように描かれているかを冷静に見てみよう。

(自分が感じた印象)

◆どんな人がいるか

◆どのような表情、目線、仕草をしているか

◆何をしているか

◆時代や季節、時間帯等はいつか

◆場所はどこか

◆どのような色合いをしているか

◆どのようなタッチで描かれているか

◆どのような構図・配置か

(班員が感じた印象)

◆どんな人がいるか

◆どのような表情、目線、仕草をしているか

◆何をしているか

◆時代や季節、時間帯等はいつか

◆場所はどこか

◆どのような色合いをしているか

◆どのようなタッチで描かれているか

◆どのような構図・配置か

C 「A」と「B」を組み合わせて考える

*自分たちが感じた「印象」と絵に描かれている「内容」を合わせて考える。何故そのように書かれているのか、何故そのような色合いや描かれ方なのか等、総合的に考えてみよう。

◆この絵が描きたかったのはどのような場面（いつ、どこで、誰が、何を、何故そうしている…等）か

◆この絵が伝えたい内容（テーマ・主題等）はどのようなことか

◆この絵に「タイトル」をつけるとしたら何が良いか

D 「C」をもとに「解説文」としてまとめる

これは（ _____ ）というタイトルの絵です。

この絵には（いつ： _____）、（場所： _____）、

（人物の特徴等： _____）が

（何をしている等： _____）

様子が描かれています。

この絵は（色合いや構図などの描かれ方等： _____

_____）

と描かれていることから、（絵の主題・テーマ等： _____

_____）を伝えたいのだと思います。

私たちの班はこの絵を見て、（絵を見た感想・想い等： _____

_____）と感じました。

音楽科や美術科での鑑賞に使用できる語彙

★印象に合わせた語彙の例

印象	語彙		印象	語彙	
落ち着き 神秘的	おだやか	おおらかな	楽しい	明るい	晴れ晴れとした
	静かな	のんびりとした		生き生きとした	新鮮な
	ゆったりとした	なごむ		うきうきとした	鮮やかな
	ほがらか	神秘的な		ときめく	楽しい
	落ち着いた	神聖な		好ましい	のびやかな
	のどかな	空想的な		華やかな	すがすがしい
印象	語彙		印象	語彙	
優しさ やわらかさ	優雅な	なめらかな	はつらつ	弾むような	軽やかな
	あたたかな	さわやかな		元気な	輝かしい
	夢見るような	繊細な		堂々とした	情熱的な
	やわらかな	流れるような		躍動的な	意気揚々な
	美しい	趣がある		陽気な	興奮した
	心地よい			活発な	
印象	語彙		印象	語彙	
怖い	気味が悪い	おそろしい	悲しい	悲しい	陰うつとした
	不気味な	ぞっとする		暗い	重苦しい
	あやしい	ぎょっとする		さびしい	哀れな
	震撼する			冷たい	ゆううつな
				沈んだ	陰気な
				感傷的な	
印象	語彙		印象	語彙	
勇ましい	堂々とした	激しい	雄大 厳粛	荘厳な	重々しい
	情熱的な	荒々しい		迫力のある	重厚な
	力強い	野性的な		重い	どっしりとした
	エネルギッシュな	勇ましい		雄大な	

★比喩表現を用いた言葉の例

踊りたくなるような	走りたくなるような	泣きたくなるような	空を飛んでいるような
朝の感じ	夕方感じ	宇宙が広がっている感じ	雨が降っている感じ

音楽科や美術科での鑑賞に使用できるオノマトペ

★印象に合わせたオノマトペの例

印象	語彙		印象	語彙	
にぎやかさ	ごちゃごちゃ	ぐちゃぐちゃ	スリル	どきどき	はらはら
	がやがや	ぎゃー		ぞくっ	びくびく
	わーわー	ぞろぞろ			
印象	語彙		印象	語彙	
明るさ	わくわく	きらきら	すごさ	ずどーん	どーん
	ぴかぴか	ぎらぎら		どっしり	ずーん
	るんるん			がんがん	
印象	語彙		印象	語彙	
いらだち	いらいら	かりかり	やわらかさ	ふわふわ	ふわり
	むかむか	もやもや		ふんわり	ふにゅふにょ
	ぴりぴり			ふかふか	
印象	語彙		印象	語彙	
硬さ	こちこち	かちんかちん	重さ	どしん	ずっしり
印象	語彙		印象	語彙	
しずけさ	しんみり	しーん	落ち込み	がっくり	くよくよ
	もやもや			しくしく	がーん
印象	語彙				
その他	きゅん	きよとん	どぎまぎ	あたふた	ころころ
	ぐらぐら	すとーん	とんとん	ふらふら	ざー
	ぬるぬる	ぴかぴか	べたべた	どろどろ	さらさら
	だらー	ぽかーん	がりがり	すー	さー
	すっきり	ちゃらちゃら	こてこて		



この絵は「善の天使と悪の人々」というタイトルの絵です。

この絵には、中世ヨーロッパにイタリアの山道でおしゃれな格好の人たちが天使のいる神聖な場所では出合いを求めている様子が描かれています。

この絵は人間のいる手前の線ははっきり描かれていて、天使のいる奥はぼかして描かれていることから、天使のいる神聖な場所では出合いを求めてはいけないということを伝えたいのだと思いました。

私たちはこの絵を見て最初は楽しそうな絵だと感じたが、よく見ると闇が深い絵だなと感じました。



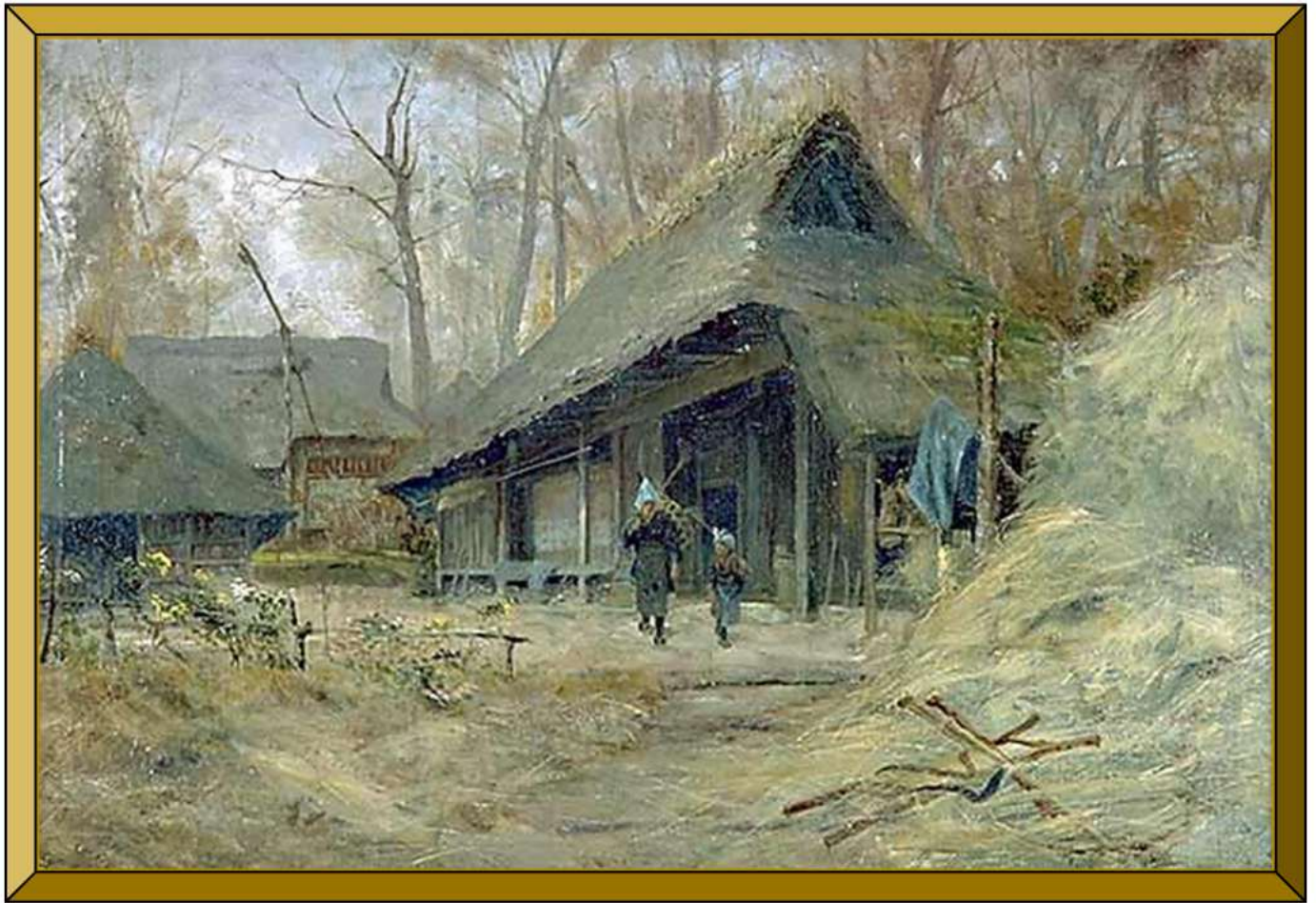
これは「幸せの巡礼」というタイトルの絵です。

この絵には15世紀頃、将来を誓いあった二人と一緒に訪れればその愛が永遠になると信じられている聖地で、各男女が幸せを願って山頂を目指す様子が描かれています。

本人たちには見えていないが聖地の噂は本当で、山には天使がおり、山頂を目指す男女の様子を見守っています。

この絵は人物が背景より強調されており、男女のペアに注目する構図になっていることから、寄り添う男女が二人の幸せを願うその愛情の美しさを伝えたいのだと思います。

私達はこの絵をみて、空想的で儂い雰囲気を感じました。



これは「時代の流れ」というタイトルの絵です。

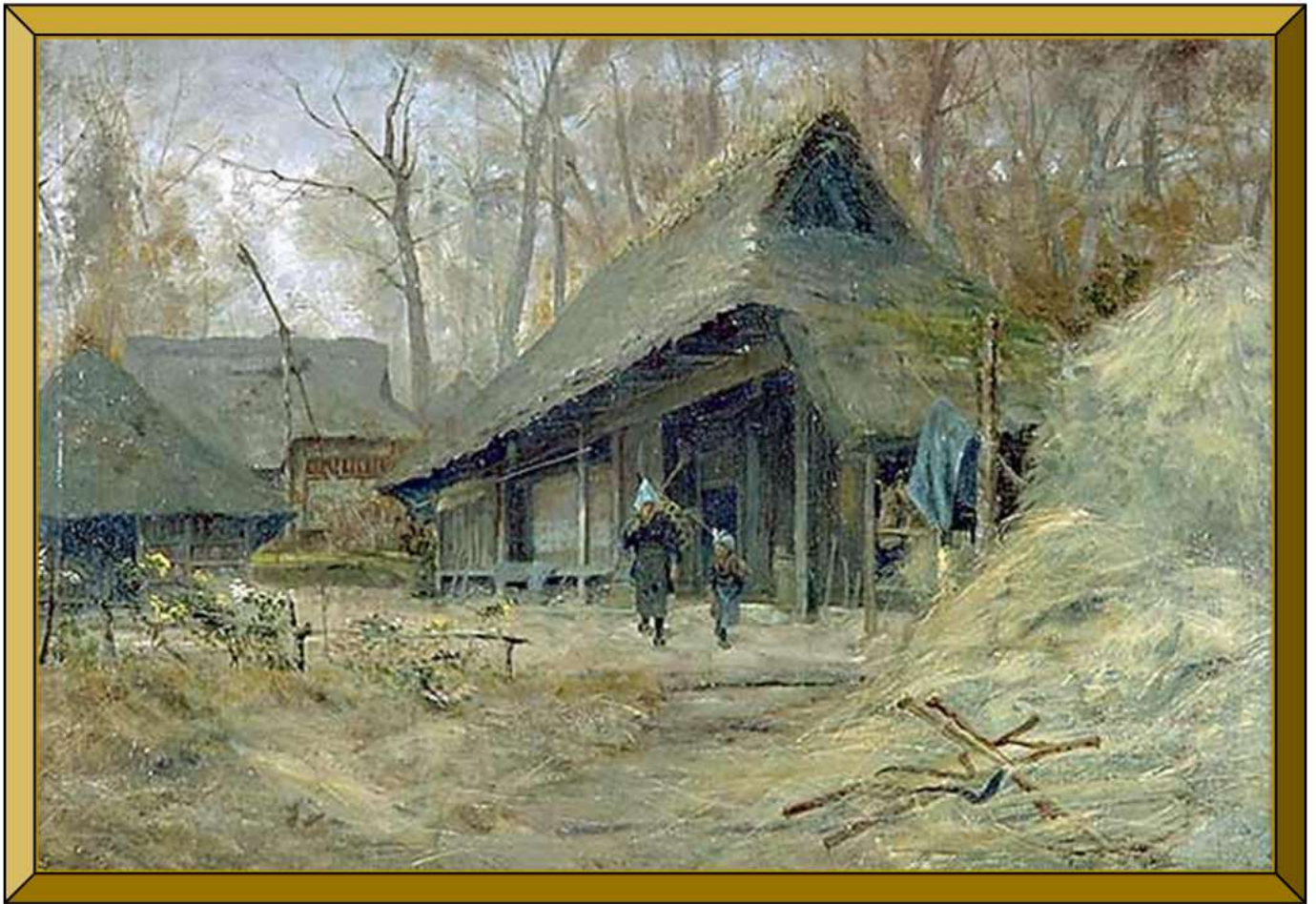
この絵は、大正時代の11月上旬の日本にある京都府京丹後市峰山町の磯砂山にある村があり、この村は高齢者が多く、若い者が絵に写っている二人しかいないため過疎化進んで困っており、村に住んでいる親子は家の周りを掃除しながら、どうするべきか話し合っている様子が描かれています。

この絵は、茶色がベースになっており、周りの木の葉がドライブラシを使われており、質素ない印象を受けました。

手前の家は斜めに建っており、それ以外の家は正面に立っており徐々に遠くなるように描かれており、親子の親の方が下を向いて困っているように描かれています。

この2つから時代の流れによる少子高齢化の大変さを伝えたいのだと思います。

私達はこの絵を見て、時代の流れに対応していくのはとても難しいと感じました。



これは『平凡』というタイトルの絵です🖼️

この絵には江戸時代頃の秋の終わりに、家の近くで、お父さんと小学校低学年くらいの女の子が、焼き芋をつくるために、枝と落ち葉を探しに行く様子が描かれています🍠

この絵は全体的に暗い色やバサバサとしたタッチで描かれているけれど、わくわくしていそうなこどもの目線と、道具の持ち方、暗い色ばかりの絵にあるキレイなお花から、平凡な毎日でも楽しみがあり、幸せだということを伝えたいのだと思います💖

私達の班はこの絵を見て、どんよりとした作品からでもお花や親子の様子から、たのしそうだなと感じました！🌷

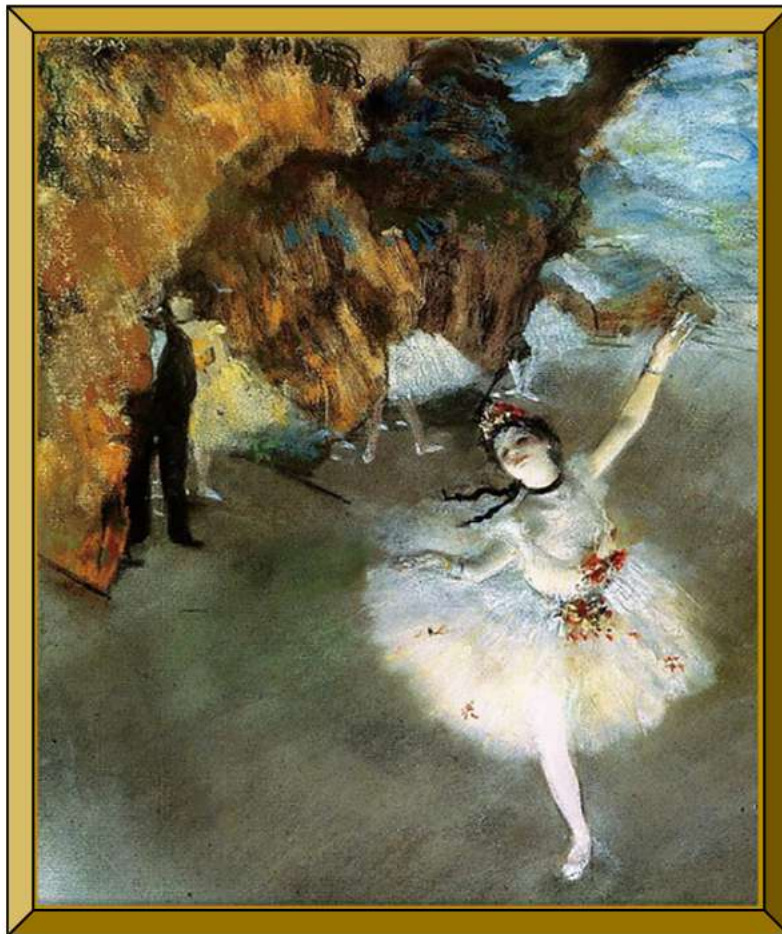


これは「ホタル」というタイトルの絵です。

この絵は華やかなドレスを着た少女が秋の夕暮れ前にフランスの草原で草原を広く使って踊っていて、奥の方には少女のダンスに興味を示さない人々の様子が描かれています。

この絵は手前の少女にピントを合わせ、ハッキリ、暖色っぽく描かれているが周りの人はダンスの輝きによってぼかされて描かれていることから、夕暮れが来て暗くなる頃に少女がホタルのように輝いて時を噛み締めダンスを踊っているが、周りの人は時の大切さを忘れて寂しくなっていることを伝えたいのだと思います。

私達の班はこの絵を見て1分1秒を大切にしている少女を周りの人は見習い自分たちも輝けるように大切にすべきだと思いました。

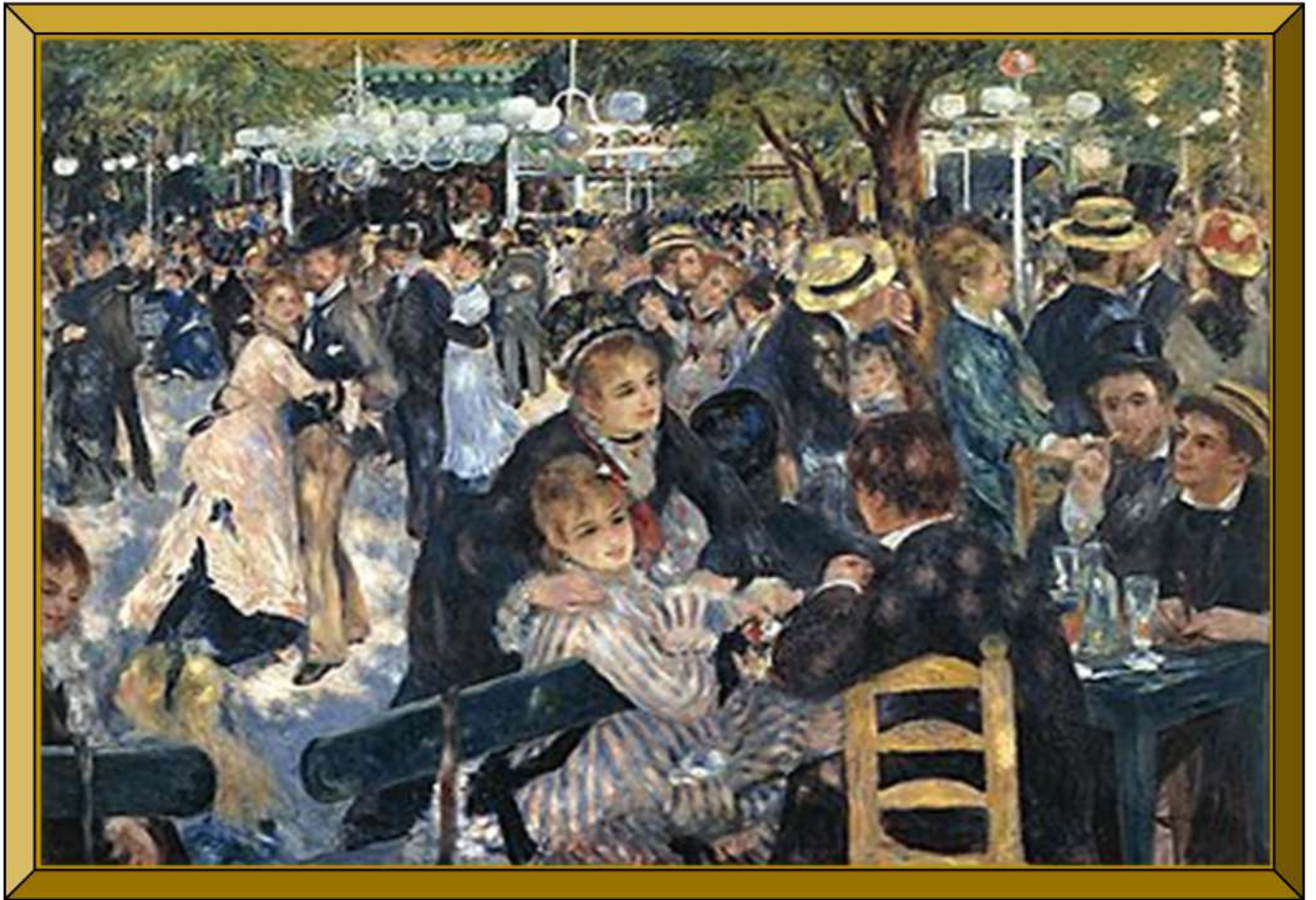


これは【世界への一步】というタイトルの絵です。

この絵には1888年の秋フランスのパリで、美しいバレリーナが夢中でクラシックバレエを美しく踊っている様子が描かれています。

この絵は右にバレリーナがいて、ベタ塗りで描かれて強調されており反対に左の男の人や足だけバレリーナがぼやかされて描かれていることから、観客視線で夢中で美しく踊っているバレリーナしか眼中にないということを伝えたいのだと思います。

私達の班はこの絵を見て色合いが暗くどこか不気味な感じがあり寂しさがあると感じました。それと同時にとても美しいと感じました。

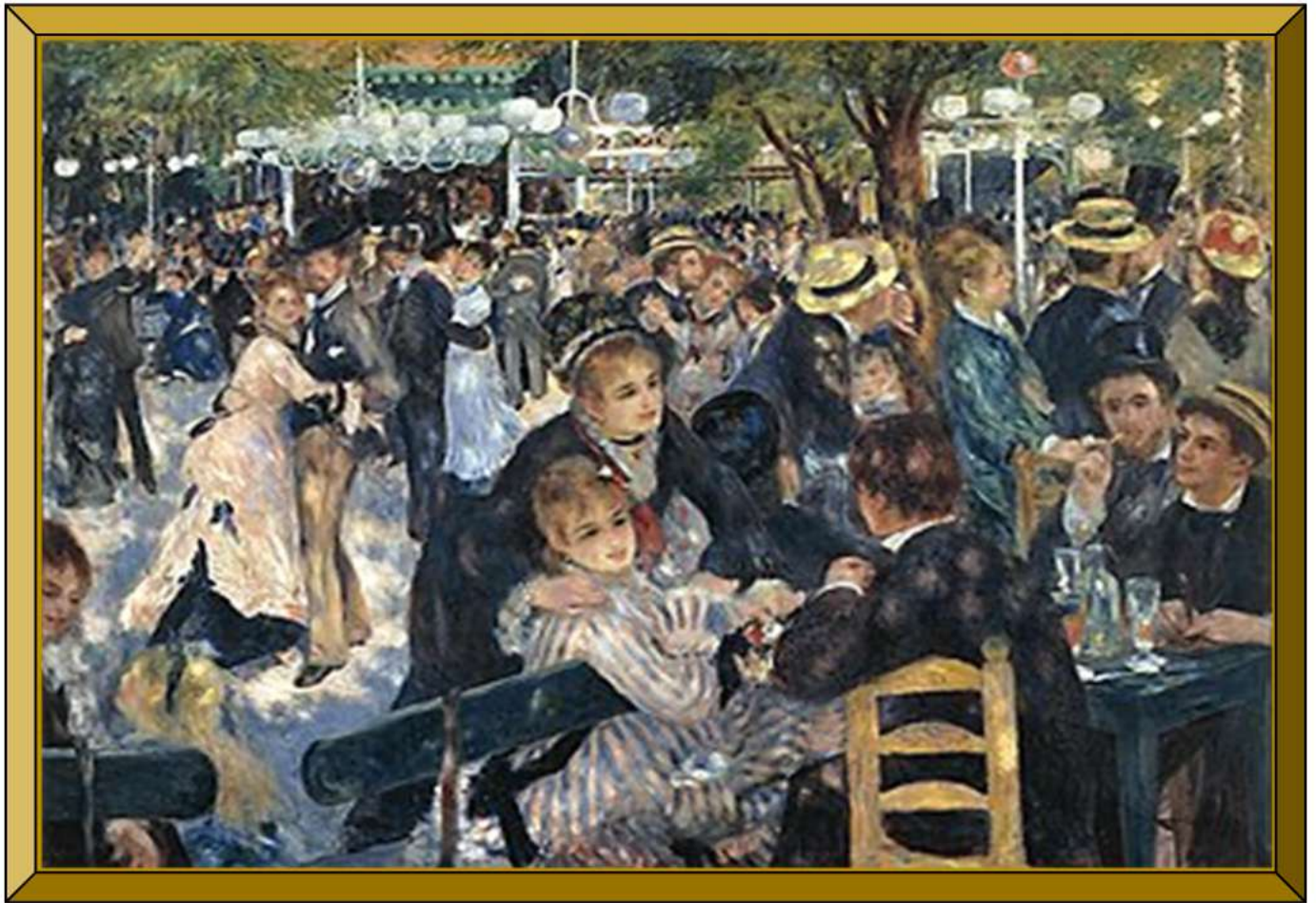


これは「結婚式」というタイトルの絵です。

この絵にはお昼ごろにドイツの広場で新郎新婦とその知り合い達が踊ったり、ご飯を食べたりしている様子が描かれています。

この絵は緑や黄色がたくさん使われていて、光が表現されていたり、みんなの顔が笑顔で描かれていることから、ドイツの結婚式はにぎやかで楽しいことを伝えたいのだと思います。

私はこの絵を見て、色合いやタッチから光が強く強調されているので明るく楽しそうな絵だと感じました。

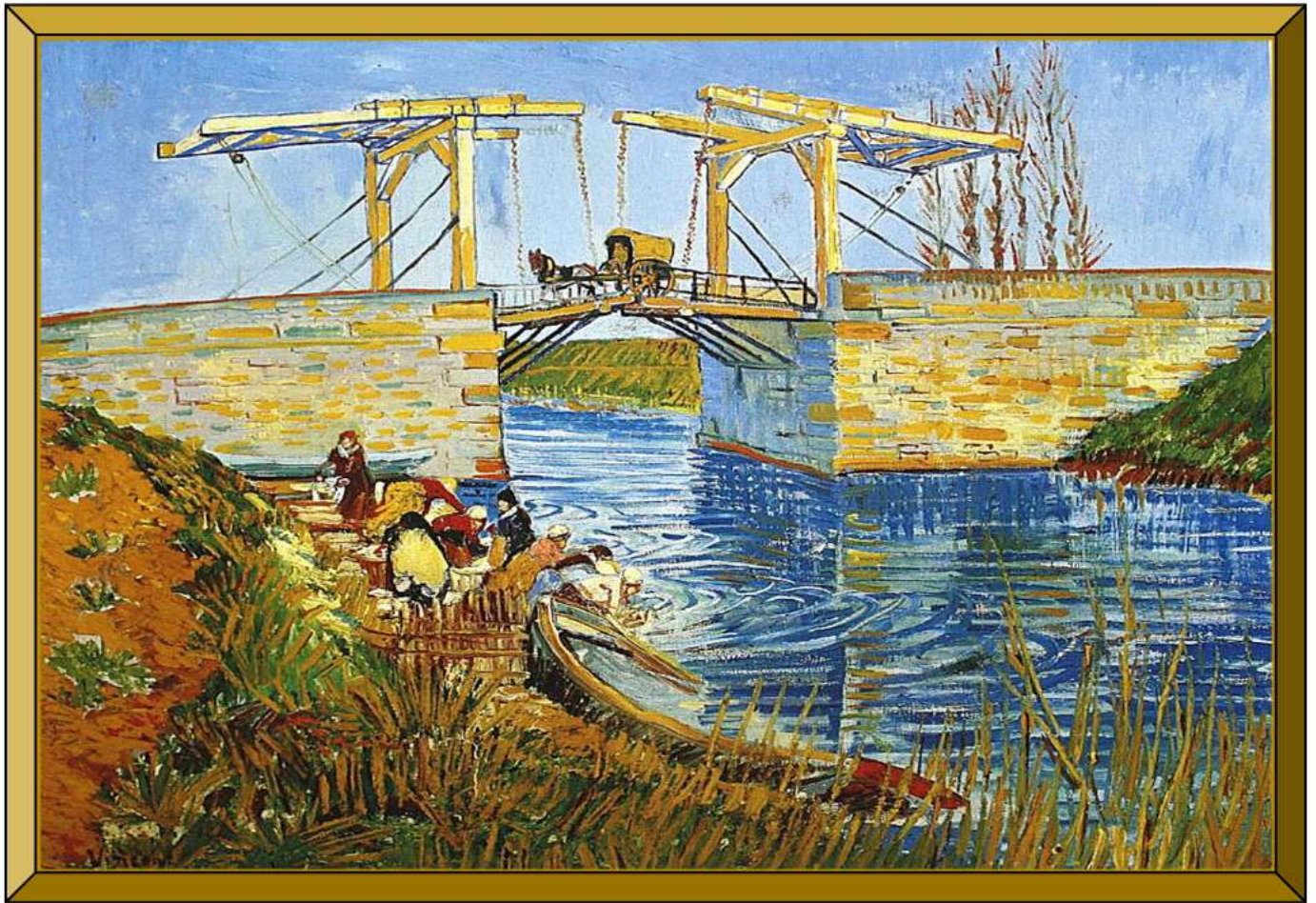


これは「夢の舞踏会」というタイトルの絵です。

この絵は18世紀のフランスで書かれたものです。作者の友人たちとダンスや食事を楽しんでいる姿が描かれています。

この絵はシャンデリアが宙に浮いていたり、はっきしした色ではなくくすんだ色が使われていて全体的にぼやけた印象があることから、この絵は作者が見た夢のワンシーンを描いたもので作者の理想のはなやかでもありながら落ち着いた雰囲気のパティー、舞踏会をしたいという想いを伝えたい作品だと思います。

私達はこの絵を見て夢を見ることは生きることのモチベーションになり、それを絵に表してみることでより一層楽しんだ様子があると感じました。



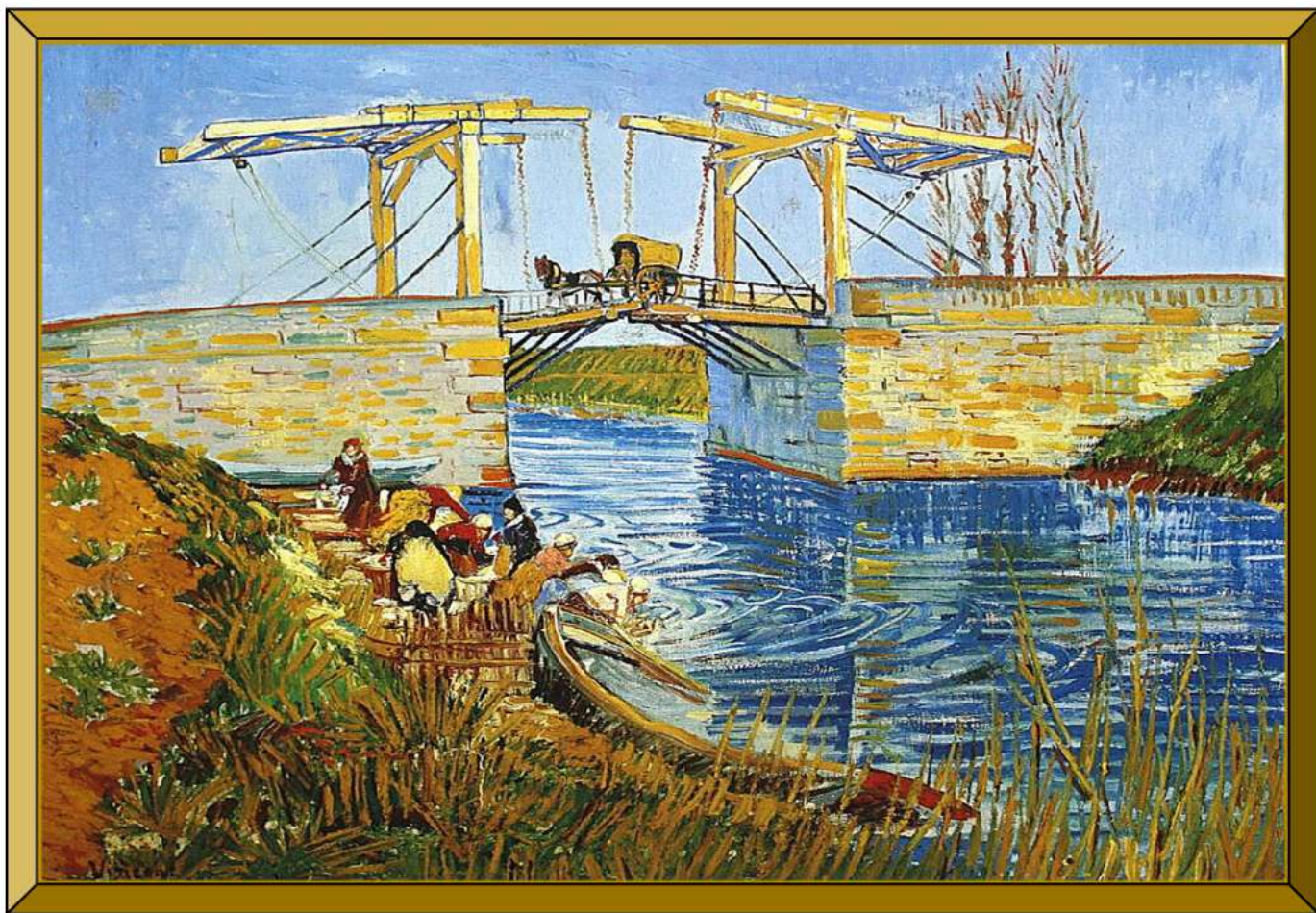
これは「川」というタイトルの絵です。

この絵には、秋の10~11時頃、ヨーロッパの田舎で川辺にいる主婦と橋の上にいる馬車が水を汲み仕事に行っている様子が描かれています。

この絵は、やわらかい色合いや、色鉛筆で描かれているためとても繊細に作られているのが魅力的です。

また、手前に沈んでいる船があることから、どんどん廃れていく町に寂しさを感じる町の人々の思いを伝えたいのだと思います。

私達の班はこの絵を見て、この街の平和と繁栄を願う町の人々の心情が絵に表れていると感じました。



これは「過疎地域の朝」というタイトルの絵です。

この絵には、冬の朝、オランダの過疎地域で、女性が川で服の洗濯していて、過疎に耐えきれなくなった人が馬車で過密地域へ向かっていくという様子が描かれている。

この絵は、橋やレンガの色が茶色っぽくて、古そうで、長年整備されていなさそうな見た目のことから、この絵の場所は過疎地域で、生活しづらいことを伝えたいのだと思います。

私たちは、この絵を見て、風景がきれいですが、冬に川で洗濯するのは冷たそうだと感じました。



このタイトルは「私たちの日常」です。

この絵はヨーロッパの町外れが舞台となっています。

初めてこの街にきた旅人の目に写った光景が描かれており、自然や動物たちを人間が支配している人間主義の世界のように感じました。

手前の羊たちは日中、村で販売されており、売れ残った羊が次の日の販売に備え、小屋に返される羊たちの残酷な表情が旅人視点の私たちに訴えかけているように感じました。

この絵の背景には淡い色が使われ手前の羊たちには現実味のある色合いになっていてより羊の表情がはっきりしています。人間たちの表情は一切描かれておらず、人間たちの日常でしかないのかもしれない。この絵を見なければ気付かない視点なのかもしれません。



これは『家に帰ろう』というタイトルの絵です 🌟

日が沈み始め、肌寒くなってくる頃の海辺の丘。

網を持ってなんとも言えない表情を浮かべる男性と、男性よりも小さな網を持ち悲しげな表情でうつむく女性が、漁を終えたものの空の竹かごを背負って帰路につく様子が描かれています。

この絵は落ち着いた色合いで自然や背景を描くことで、2人の男女の表情に目が向くようにする構図で描かれています。このことから、作者は物事に対する考え方の違いで、暗く下を向いて生きていくことも、明るく前を向いて生きていくことも出来るということを伝えたいのだと思います！

私たちはこの絵を見て、彩りがなくパッと見つまらない絵でも見方を変えることで、物語を想像するなど楽しむことが出来るのだなと思いました！



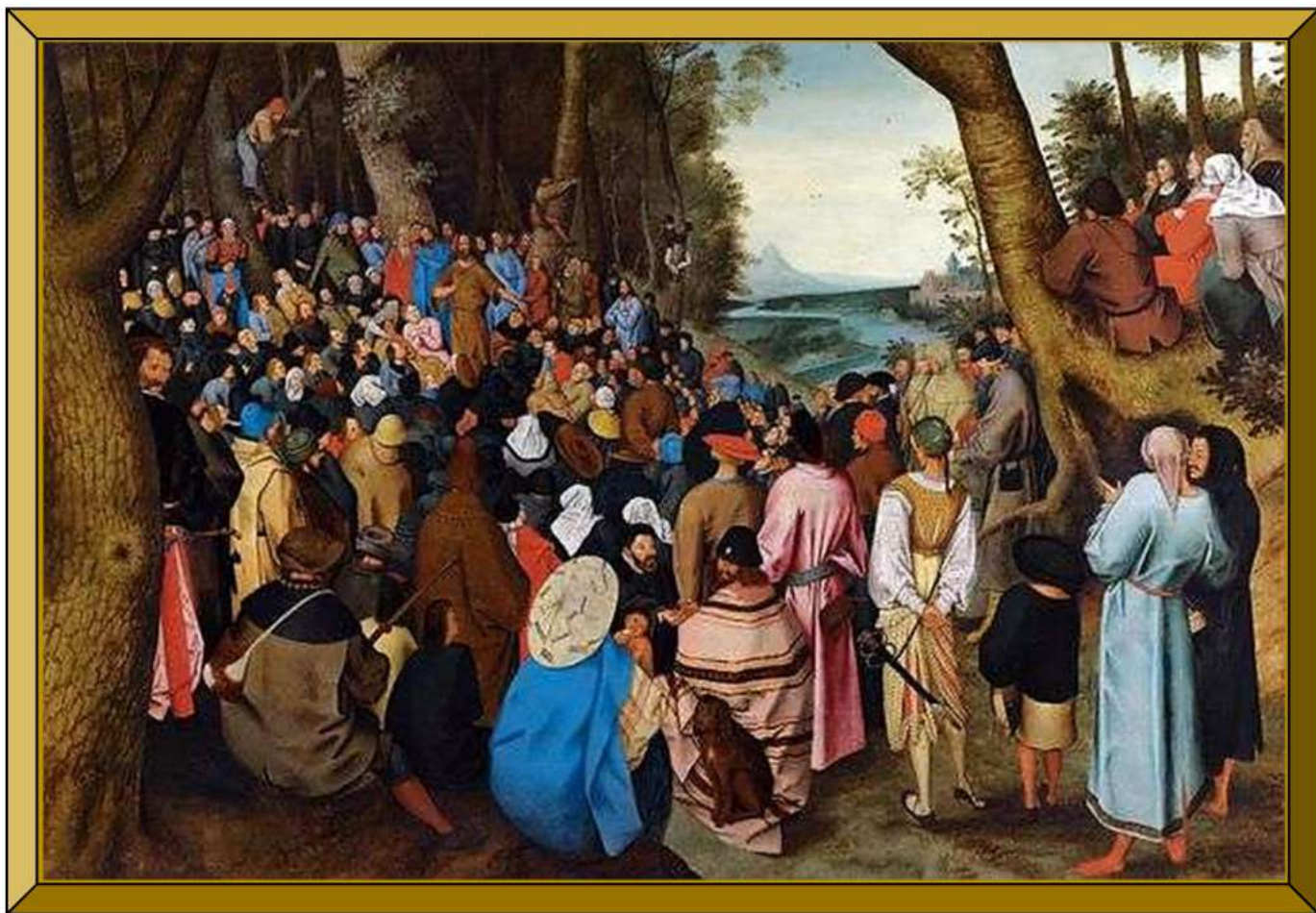
これは「平和な日常」というタイトルの絵です。

この絵には昼の2時頃、イタリアの川沿いにあるカフェで、左手の薬指に指輪をしていることから30歳くらいの結婚してる女性が旦那さんとのランチデートで、旦那さんに写真を撮ってもらっている様子が描かれています。

この絵は全体的に黄色や緑、白などの明るい色が使われていることから、暖かく優雅な印象を受けました。

この雰囲気から平和な日常があることは幸せだということ伝えたいのだと思いました。

私達の班はこの絵を見て、その色合いや表情から温かい雰囲気だと感じました。



これは「信者の心」というタイトルの絵です。

この絵には、秋の夕方ヨーロッパの山で、信者が集まり、リーダーの話を真剣に聞く人々の様子が描かれています。

この絵は、絵の奥にぼんやりと山があり、その山から絵の手前に来るにかけてははっきりと川が描かれています。川の横には小さく教会が描かれており手前にはたくさんの信者たちがはっきりと描かれています。全体的に黄色い色合いで描かれていることから、神様を信じる人の心は美しく、強くはっきりとしたものということをお伝えしたいのだと思います。

私達の班はこの絵を見て、作者が神を信じることの美しさなどを後世に伝えるためにこの絵を描いたのだと感じました。

本時の目標：

**1枚の絵画から想像
を広げ、短い物語を
創作しよう**

短い物語



「ショートショート」

※昨年度、三年生が使用したプリント

☆「ショートショート」とは

「ショート(短い)」「ゴジ言葉が」「続く」「短く」「かきまわかる」「おもしろい」「**非常に短い物語**」のこと。文字数が厳密な決まりはなく、原稿用紙五枚〜七枚程度が多いが、原稿用紙一枚から三枚程度の「超ショートショート」と呼ばれる作品もある。この昔前の日本では「**超短編小説**」とも呼ばれていた。

『5分後に意外な結末』シリーズなどが小中学生に人気となり、また再びショートショートのブームが来ている。

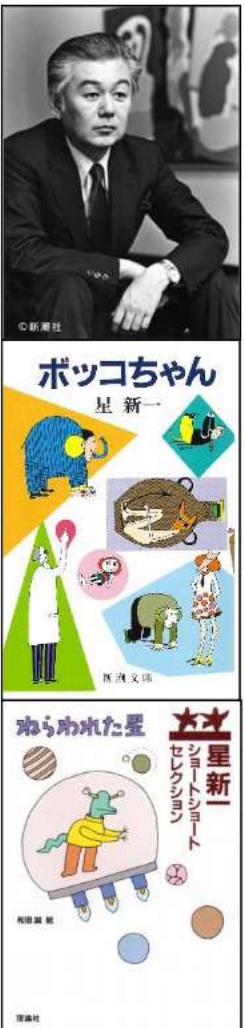
☆「ショートショート」に必要な要素

- ① **「完全なプロット」**
↓プロットとは、物語の「**構成**」のこと。物語の構成や展開等が工夫され、しかつこくなくおもしろいことが重要。
- ② **「新鮮なアイデア」**
↓他の物語では見えないような「**設定**」「**テーマ**」があることが面白くなる。
- ③ **「意外な結末(オチがある)」**
↓短い物語なので、結末の部分が特に重要。ここでも意外性や独創性、おもしろさ等のオチが重要。

☆有名なショートショート作家

① **「星新一さん(一九二六年―一九九七年)」**

SF作品を中心に理系の内容を多く扱った作家で、生涯にわたって「1000編」以上の作品を創した「ショートショート」の神様とも呼ばれる作家。海外においても二十言語以上で翻訳されているなど非常に有名な作家。



② **「田丸雅智さん(一九八七年)」**

星新一が「唯一の後継者」と称したSF作家・江坂遊が認めた作家。また、芥川賞受賞作家で、去人でもある「ス」の又吉直樹が「新時代のショートショート作家」と絶賛している。多くのショートショート作品を世に出している一方で、ゲストと一緒に即興で作品を書き上げる「即興ライブ」や「ショートショートの書き方講座」などを全国で実施しており、ショートショートを世に広めようと普及活動にも精力的に取り組んでいる。



ショートショート作品
は、文量に厳密な規定は
ないので、自分が創るス
トーリーに必要な量をつ
くってください。

ショートショート作品に
おいては「テーマ」を考
えることが重要になる
が、今回はその「テー
マ」を1枚の絵画を選ぶ
ことで代わりとする。

使用する絵画について：

- ◆鑑賞に使った絵画を使用する（自分のグループのもの）
- ◆鑑賞に使った絵画を使用する（他のグループのもの）
- ◆自分が知っている絵画を使用する
- ◆Chromebookで色々な絵画を調べて見つけた絵画を使用する

使用する絵画について：

- ◆鑑賞に使った絵画を使用する（自分のグループのもの）
- ◆鑑賞に使った絵画を使用する（他のグループのもの）

《メリット》

- 鑑賞を終えているため、どのような絵かある程度わかっている
- 作業時間が短縮できる

《デメリット》

- 鑑賞が終わっているため、自分の想像を広げる範囲が狭い（自由度が少し減る）

使用する絵画について：

- ◆自分が知っている絵画を使用する
- ◆Chromebookで色々な絵画を調べて見つけた絵画を使用する

《メリット》

- 前回までの学習を活かすことができる
- もう一度、自分の力で絵画を鑑賞する、分析する楽しみがある

《デメリット》

- 絵画の鑑賞を一から始めるため時間がかかる

使用する絵画について：

物語を創る上で、どのような絵を選ぶかが非常に重要になります。想像力が豊かな人、鑑賞が得意な人、物語づくりに抵抗がない人はどのような絵でもできるかもしれませんが、苦手意識のある人は絵の選択について十分に考える必要があります。

使用する絵画について：

ルノワール「フルネーズ嬢」



◆この絵に描かれた「女性」については色々書けるが、それ以外の登場人物がわからない

⇒物語にするときに**自分で想像を広げ、登場人物を増やさなければならぬ**。A組ではこの視線の先には「自分の子どもたち」が、B組では「旦那さん」がいるという解釈をしていましたが、そのように鑑賞した結果をもとに想像を広げ、自分でつくるというところに難しさと面白さがあります。

使用する絵画について：

ルノワール「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」



- ◆登場人物が多くいるため、ネタには困らないが多すぎると……
⇒この絵では人が多く描かれているので、登場人物を考えるには困らない。ただし、全員は描ききれないし、この絵の中の誰を主人公として設定するかによっても展開は変わるはず。
情報が多い場合は、自分で焦点化できないといけない。

使用する絵画について：

モネ「印象・日の出」



◆人はいるが情報が少ない絵

⇒この絵では、舟の上に人も描かれているがシルエットのみ。この人たちを主人公にすれば物語は作れなくはないが、年齢、性別、性格、容姿など場合によっては**全ての設定を自分でつくらなければならない**。

使用する絵画について：

ゴッホ「ひまわり」



◆風景、物だけの絵

⇒この絵だけで物語を創るのは非常に難しい。このひまわりを生けた人を想像し物語を創る、このひまわりが飾られている場所を想像し物語を創るなどはできるかもしれないが……。動物の絵なら、動物視点で物語をつくることはできるかもしれない。

<https://wam-hasard.com/>

オンライン美術館 || HASARD

HASARDは、『誰でも』『いつでも』『無料で』アートを楽しめるをコンセプトにする、唯一のオンライン美術館です。

作り方について：

必ず「1人1作品」創る

学習パターンについて：

◆絵の選択から物語創りまで全て1人で行う

◆絵の選択は友だちと行い、同じ絵を使用するが鑑賞から物語創りまでは1人で行う

◆絵の選択・鑑賞までは友だちと行うが、物語創りからは1人で行う

◆絵の選択・鑑賞・物語づくりも全て友だちと行う

※複数人で1つの物語をつくるわけではないので注意

※作業が進まないグループは強制解散

***複数人で作業を行う場合も最大3名までとする**

***2人でのペア学習も可**

学習パターンの選択：

- ①ー1 自分のグループで鑑賞に使った絵画を使用し、物語創りまで全て1人で行う
- ①ー2 自分のグループで鑑賞に使った絵画を使用し、全て友だち（同じグループだった人）と行う

- ②ー1 他のグループが鑑賞に使った絵画を使用し、絵の選択から物語創りまで全て1人で行う
- ②ー2 他のグループが鑑賞に使った絵画を使用し、絵の選択は友だちと行い、同じ絵を使用するが鑑賞から物語創りまでは1人で行う
- ②ー3 他のグループが鑑賞に使った絵画を使用し、絵の選択・鑑賞までは友だちと行うが、物語創りからは1人で行う
- ②ー4 他のグループが鑑賞に使った絵画を使用し、絵の選択・鑑賞・物語づくりも全て友だちと行う

- ③ー1 前回までに鑑賞していないが自分が知っている絵画を使用し、絵の選択から物語創りまで全て1人で行う
- ③ー2 前回までに鑑賞していないが自分が知っている絵画を使用し、絵の選択は友だちと行い、同じ絵を使用するが鑑賞から物語創りまでは1人で行う
- ③ー3 前回までに鑑賞していないが自分が知っている絵画を使用し、絵の選択・鑑賞までは友だちと行うが、物語創りからは1人で行う
- ③ー4 前回までに鑑賞していないが自分が知っている絵画を使用し、絵の選択・鑑賞・物語づくりも全て友だちと行う

- ④ー1 Chromebookで色々な絵画を調べて見つけた絵画を使用し、絵の選択から物語創りまで全て1人で行う
- ④ー2 Chromebookで色々な絵画を調べて見つけた絵画を使用し、絵の選択は友だちと行い、同じ絵を使用するが鑑賞から物語創りまでは1人で行う
- ④ー3 Chromebookで色々な絵画を調べて見つけた絵画を使用し、絵の選択・鑑賞までは友だちと行うが、物語創りからは1人で行う
- ④ー4 Chromebookで色々な絵画を調べて見つけた絵画を使用し、絵の選択・鑑賞・物語づくりも全て友だちと行う

学習パターンの選択：

誰かと一緒にやりたいと思う人は、まずはその相手を見つけましょう。

ただ、一人でやりたい人もいると思うので無理強いはしないこと。

また、友だちと始めたけど「今日は一人で進めたい」、「一人で始めたけど友だちからのアドバイスがほしいから誰かと一緒にやりたい」等、途中で学習パターンを変更することも認める。

絵の鑑賞 ワークシート

絵の鑑賞：

【その絵を見た「直感的な印象」】

※以前配付した「語彙リスト」を元にしても良い

※選んだ絵に、明るい印象を受けたのなら明るいストーリーを考え、
暗い印象を受けたのならそういう方向性で考えていけば良い。

絵の鑑賞：

【その絵を「分析する」】

◆どんな人がいるか

- ・
- ・
- ・

◆どのような表情、目線、仕草をしているか

- ・
- ・
- ・

◆何をしているか

- ・
- ・
- ・

※絵に多くの人物が描かれている場合は「焦点化」し、**物語に登場させる「登場人物」になりうる人をピックアップ**しましょう。

※第一集会室での授業同様、描いてあることを元に**たくさん想像して！**

絵の鑑賞： 【その絵を「分析する」】

◆時代や季節、時間帯

◆場所はどこか

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

※物語の「舞台」になるところなのでよく分析して！

※その場所の特徴や描かれている物を色々とメモしておこう

※その絵に描かれている風景や物を、物語の中の情景描写に使おう

◆どのような色合いをしているか

※絵の解釈に役立てて！

絵の鑑賞：

【その絵を「分析する」】

◆どのようなタッチで描かれているか

◆どのような構図・配置か

※どちらも難しい分析内容ですが、絵の「解釈」に役立てて！

絵の鑑賞：

【その絵を「分析する」】

◆この絵が伝えたい内容（テーマ・主題等）はどのようなことか

※絵のテーマ、主題が捉えられれば、それをもとにしたストーリーづくりが行える。

物語の設定・プロット 資料

基本的な設定：

まずは、自身が選び、鑑賞した絵画の内容を小説にどのように組み込むかということを考えましょう。

基本的な設定：

パターン①

その絵の場面を「物語のスタート」として使用する

「宵の青」 / エドワード・ホッパー



よそ見をしているあいだに、いつのまにかピエロが私たちのテラス席に坐っていた。ひと言もしゃべらずに。もちろん、しゃべるわけがない。相手は道化師——厚い化粧を施したパントマイム師——なのだから。

(文：ロバート・オレン・バトラー)

基本的な設定：

パターン②

**その絵の場面を「物語の中盤
(メインのところ)」として
使用する**

「サマー・イブニング」 / エドワード・ホッパー



今でも昨日のことのようによく憶えている。わたしたちは玄関のポーチにたたずんでいた。もう真夜中に近い時間なのに、外にはまだ昼間の熱気が残っていたわ。家の中はすっかり明かりが消えていたけど、母が階上で起きてわたしの帰りを待っているのはわかってた。もしかしたら、寝室の窓から聞き耳を立ててさえいたかもしれない。門限はもうなかったけど、母はわたしが帰宅してポーチの明かりを消すまでは絶対に寝ようとしなかったから。あれだけのことがあったあとでも。

(文：ジル・D・ブロック)

※絵画の内容を物語の中盤に登場させる場合、その絵の内容が物語の鍵となる、絵の内容が主題に直結する……そんな使い方になります。上の文だけでは何のことかわからないと思いますが、全文をきちんと読むと、この何でもないように見える絵が一気に異なる物に見えるはず。

基本的な設定：

パターン③

その絵の場面を「物語の結末」として使用する

このパターンについては参考になるような良い文章を見つけられませんでした。「物語のはじめ」として使う、「物語の中盤」に使うことがあるのなら「物語のまとめ」として使っても良いと思います。

今回例として取り上げた絵と文章は、以下の本からもってきています。



[編]ローレンス・ブロック
[訳]田口俊樹

『短編画廊 絵から生まれた17の物語』

ハーパーコリンズ・ジャパン (2019年)

IN
SUNLIGHT
OR
IN
SHADOW

STORIES INSPIRED BY THE PAINTINGS OF
EDWARD HOPPER

絵画というのは、ある一瞬の風景や日常が切り取られたものです。現実世界で考えれば、その絵の瞬間の前後にも時間の流れがあるわけです。

その絵の前を想像して物語を創るのなら、絵画の内容は中盤もしくは終盤にくるはずです。

その絵の後を想像して物語を創るのなら、絵画の内容は序盤にくるはずです。

ストーリーを考えるためには、まずそのあたりを決めておく必要があります。

物語の設定・プロット ワークシート

基本的な設定（人物編）：

◆主人公

-
-
-
-
-

※年齢、性格、立場、何をしているか等、絵画をもとに想像を広げて設定をつくる

※主人公だからと言って「名前」をつける必要はない

基本的な設定（人物編）：

<Aパターン>

主人公の視点で物語る

⇒ 「私は……」 「僕は……」

<Bパターン>

第三者の視点で物語る

⇒ 「彼は……」 「○○は……」

基本的な設定（人物編）：

◆他の登場人物（3名程度におさめる）

-
-
-

※年齢、性格、立場、何をしているか等、絵画をもとに想像を広げて設定をつくる

※絵画に複数人描かれているのならその人物を登場人物にする、絵画にあまり描かれていないのなら想像して登場人物を創る

※短い物語の場合は登場人物は必要最低限に

基本的な設定（物語の舞台編）：

-
-
-
-
-

※どこなのか、どのようなところなのか、何があるのか、何故そこにいるのか、そのあたりをよく捉えて

※「情景描写」は細ければ細かいほど良い

基本的な設定（物語の時間編）：

-

-

-

※時間や季節、時代はいつなのかなどをよく捉えて
時代⇒その時代背景にズレないように
季節・時間⇒その季節・時間らしさを描写に含めて

基本的な設定（構成編）：

基本構成「起承転結」にまとめる！

「起」：

いつ、どこで、誰と誰がいて、何をしているのかといった**基本的な設定**を書いていき、物語のベースを示す。

「承」：

「起」を受けて物語を広げていく。絵を鑑賞して考えた「主題・テーマ」を間接的に示す。「主題」に関わる、もしくはそれを表すために必要な「出来事」が書いていけると良い。

※その絵自体が何かの「出来事の途中」の場合もあるので、何か新しいことを書くというよりかは、その絵の状況の説明を増やしていくようなイメージが良い。

「転」：

事件や失敗、それまでの物語の流れや展開から外れる出来事を描く。**物語の山場**となる部分で、「主題」につながるような内容が書けると良い。

（例）「平和」が主題なら「平和じゃない事件」を描く

（例）「友情」が主題なら「裏切り」を描く

「結」：

ここまでの物語の流れを受けて話をまとめる。ショートショートでは「話のオチ」が重要と言われている。「オチ」というと「笑いをとる」ことを思い浮かべがちだが、それだけではない。「ハッピーエンド」「バッドエンド」も良いし、どちらとも言えないが「読者に訴えかける、考えさせる」終わりがあっても良いし、実際にはないにしても「続きの想像をかきたてられる」ようなオチでも良い。今回大切にしてほしいのは**その絵の雰囲気壊さないこと**。

物語のプロット（「あらすじ」編）：

*ざっくりとで良いので「あらすじ」を書いてみよう

物語のプロット（「結」編）：

*ゴールから逆算して物語を組み立てたほうが
つくりやすい。

物語のプロット（「転」編）：

- * 「転」の内容が衝撃的なほど物語は面白く感じる傾向がある。ただ、突拍子もないことを描くと読者は冷めるので気をつけて。

物語のプロット（「承」編）：

*絵の「鑑賞内容」、そしてそれに基づく「想像」によって大きく物語を展開させよう。こちらも「絵」の内容や雰囲気崩れないように。

物語のプロット（「起」編）：

＊物語の基本設定がわかりやすく伝わるように